

# 1 第5次総合計画総括結果の概要と新たな計画に向けた課題について

| No. | 意見                                                                    | 対応                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 前期の評価は、後期基本計画策定時にも行っている。<br>前期・後期で評価を分けるのではなく、全体の評価としてまとめた方がよいのではないか。 | 前期の評価については、後期基本計画策定時には令和元年度及び令和2年度の2年分の評価は行っていないことから、改めて前期分の評価としてまとめた。<br>また、「想定する課題」は、前期基本計画と後期基本計画の総括をした上で、第5次総合計画の基本構想における「将来像の基本概念」ごとに整理をした。 |
| 2   | 報告書の資料構成として、「評価」の後に「想定する課題」という流れの方がよいのではないか。                          | 資料構成を、「前期基本計画の総括→後期基本計画の総括→想定する課題」と修正する。                                                                                                         |

# 2 基本構想骨子（案）について

| No. | 意見                                                                                                                       | 対応                                                                   |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 1   | 朝霞市が目指すべき方向性検討資料のうち、調査結果等から抽出したキーワードの資料について、都市マスと連携して実施した高校生ワークショップの内容を追加してはどうか。                                         | 高校生ワークショップの内容のほか、大学生に対するアンケートや小中学生アンケート等も加えた資料を作成する。                 |
| 2   | 選ばれる自治体になるために、市の特徴や核となるものを打ち出していくことも必要ではないか。                                                                             | 大事な視点であるので、基本計画の策定を進める中で、朝霞市の独自性を持たせた第6次総合計画にしていきたいと考えている。           |
| 3   | 将来像の「●●」の部分は、いつ頃言葉を入れるのか。<br>将来像から基本方向や政策分野につながる構成なので、早めに打ち出さないと計画全体が固まらないのではないか。                                        | 8月の審議会でのご意見を踏まえ、次回、10月の策定委員会で案を提示したい。                                |
| 4   | 共通理念について、市民が主体となるものと、行政が主体となるものが混在していて、バランスが悪いように感じる。                                                                    | 基本構想骨子の共通理念について、「創意工夫により、持続可能なまちをつくる」の説明が行政側の説明だけになっているため、表現の見直しを行う。 |
| 5   | 第5次総合計画の「自然・環境に恵まれたまち」は、第6次総合計画では「だれもが快適に、便利に暮らせる環境をつくる」に当たると思うが、開発による便利さという印象があり、「自然」の観点が弱まっていると捉えられかねないので、表現を見直してはどうか。 | 「便利に」という表現が開発等を連想させる印象が強いため、表現の見直しを行う。                               |
| 6   | 全体的に「つくる」という表現が多いが、方向性を示す「めざす」もよいのではないか。                                                                                 | 基本方向について、「めざす」の方が、よりその方向に進んでいく印象が強まると考えることから、「まちをめざす」に修正する。          |